

神戸学院大学電話交換システム説明書

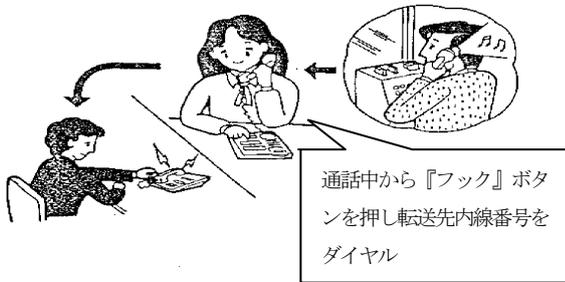
(お問合せは、管財事務室(施設)(内線:24452 山崎まで)



『キャッチ』又は『フック』ボタンが無い電話機のフックボタンとは左の場所になります。(図1)

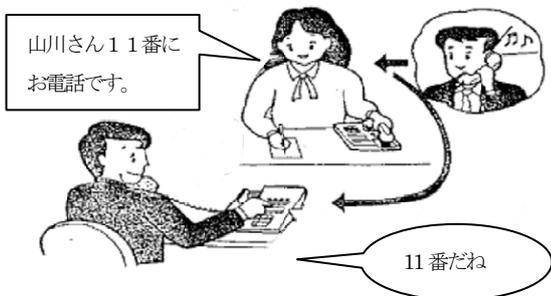
(1) ダイヤル転送及び口頭転送の仕方

1. 通話中(内線、局線いずれも可)に『キャッチ』又は『フック』ボタンを押し転送先内線番号をダイヤルすることにより、自動的に通話中の人を保留にします。(『キャッチ』又は『フック』ボタンが無い電話機は図1のフックボタンを軽く1回押した後転送先内線番号ダイヤルします)(保留中の人にはオルゴールを流しております。)
2. 転送先内線の応答で打ち合わせ通話をします。
3. 受話器をおろすと保留中の相手が転送先内線につながります。



(2) グループ内転送(口頭転送)

1. 通話中に『キャッチ』又は『フック』ボタンを押し、**11・12・13・14のいずれか**をダイヤルし相手を保留します。(『キャッチ』又は『フック』ボタンが無い電話機は図1のフックボタンを軽く1回押した後**11・12・13・14のいずれか**をダイヤルします。)
2. 転送者は「〇〇さん、×番に電話です」と、グループ内の人に口頭で伝えます。
3. 呼ばれた人は受話器をあげて告げられた番号(11・12・13・14)をダイヤルすると、保留された相手とつながります。

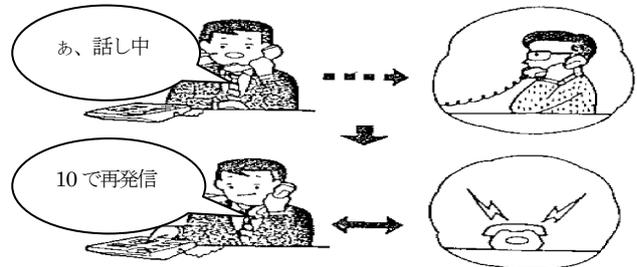


(3) 可変短縮ダイヤル(電話機毎の短縮ダイヤル)

1. 受話器をあげて 5 + △△でダイヤルします。
 2. 短縮番号(△△)は00~19の20個の登録が可能です。
 3. 登録 15 + △△ + 0 + 相手先電話番号短縮番号ダイヤル後ツ・ツ・ツ・・・が聞こえ、その後0+相手先電話番号をダイヤルするとツーツーツの登録確認音が聞こえます。
- ★ 教育研究用電話(教員及び研究室)の発信の仕方は下記のようになります。
(*1又は*2又は*3) + 5 + △△

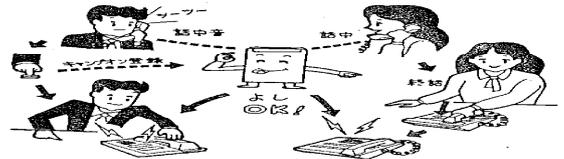
(4) 局線リダイヤル

- 最後にかけた局線に呼びかけるときワンタッチでかける事ができます。
1. 受話器をあげて 10 をダイヤルしてください。(内線電話にダイヤルしても、局線発信の番号を記憶しています。)



(5) 内線キャンプオン

1. 内線に電話をかけ、相手話中のとき 16 をダイヤルし、登録確認音を聞き受話器を置きます。
 2. 相手の話が終ると、登録者を呼び出します。登録者が受話器をあげると、今度は相手側を呼び出します。
- [解除] 受話器をあげて 17 をダイヤルしてください。(ツーツーツ音の解除確認音が聞こえます。)



(6) グループ内代理応答(コールピックアップ)

- 同一グループ内の他の内線電話機への着信を、自席の電話機で応答することができます。
1. 受話器をあげて 6 をダイヤルします。

